

## 「民間ロケットの開発・実証」事業の概要とステージゲート審査結果

代表スタートアップ：インターステラテクノロジズ株式会社 事業計画名：小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：46.3 億円 フェーズ2 追加配分額：14.4 億円
代表スタートアップ：将来宇宙輸送システム株式会社 事業計画名：小型衛星打上げのための再使用型宇宙輸送システムの開発・実証 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：50.0 億円 フェーズ2 追加配分額：0.85 億円
代表スタートアップ：スペースワン株式会社 事業計画名：増強型ロケットの開発、打上げ実証及び事業化 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：3.2 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：12.3 億円 フェーズ2 追加配分額：4.1 億円

※上記の掲載順は、応募申請順に基づく。